

学資積み立て 保護者に紹介 清凌高が相談ブース設置



保護者に学資積み立ての選択肢を示す社員や職員
＝大垣市清水町、清凌高校

大垣市清水町の清凌高校は26日、4月に入学する新入生86人と保護者を対象に、中長期的な人生設計を支援しようと同校で、地域金融機関と連携して学資積み立ての情報提供を行った。

2026年度から高校授業料無償化が拡充され教育費負担が軽減される中、大進学や資格取得、留学といった高校卒業後に必要となる資金の準備を考えるき

っかけになればと初めて企画。大垣共立銀行、大垣西濃信用金庫に協力を仰ぎ、制服や教科書などの学用品販売に合わせて相談ブースを設けた。社員や職員は保護者らにパンフレットを手渡し、少額投資非課税制度(NISA)や個人型確定拠出年金(iDeCo)、個人年金保険などの選択肢を示した。

平野宏司校長は「授業料無償化は家庭にとって大きな支援だが、教育費支出の終わりではない。無償化で生まれる、3年間で約137万円の余裕資金を将来への原資と捉え、子どもの夢への投資に活用してもらえたら」と話した。

(小森直人)